

骨子・構成案			担当
大	中	小	
はじめに			松本委員長
審議の経過について			事務局
1 仙台市における現状 ―こどもの学びと居場所―	1（1）こどもの学びの場		事務局
	1（2）こどもの居場所		
	1（3）まとめ		松本委員長
2 こどもの学ぶ喜びと居場所について（総論）	2（1）学び	①やりたいことができ、何もしなくてもよい（学びの特徴）【地域】	松本委員長 朴副委員長
（総論・共通事項 ※提言の骨子含む）		②安心・安全で失敗できる環境（学びの環境）【地域】	
		③多様性に応じた包摂的な環境（学びの環境）【外国】	
		④地域とのつながりによる学び（学びづくりの方法）【外国】	
	2（2）居場所	①こどもと親それぞれに必要な居場所（居場所の対象）【地域】	
		②学校の重要性（居場所の場所）【外国】	
		③利用のしやすさと多様性（居場所の種類）【地域】	
		④地域や社会とのつながり（居場所づくりの方法）【外国】	
	2（3）キーパーソン（人とのつながり）	①市民の力の育成と活用（キーパーソンの種類）【地域】【外国】	
		②学校への支援（キーパーソンの種類）【外国】	
		③後継者育成（キーパーソンの種類）【外国】	
	2（4）行政の支援	①経済的支援【地域】	
		②場所の支援【地域】	
		③学校との連携【外国】	
		④NPOやボランティアとの連携【外国】	
3 地域におけるこどもの学びと居場所	3 はじめに	調査先の概要、選定理由等	
（各論1）	3（1）学び	①こどもの学び	阿部委員・安藤委員
		②大人の学び	
	3（2）居場所のあり方	①こどもの居場所のあり方	高橋美和委員・松本委員長
		②大人の居場所のあり方	
	3（3）キーパーソン（人とのつながり）	①支援者の思い	中山委員・沼里委員
		②後継者育成、人材探しの支援等	
	3（4）行政の支援	①経済的支援	内藤委員
		②場所の提供	
		③人への支援	
	3（5）小括		内藤委員
4 外国にルーツを持つこどもの学びと居場所	4 はじめに	調査先の概要、選定理由等	
（各論2）	4（1）学び	①支援する側にとっての学び	齋藤委員
		②利用する側にとっての学び	高橋由臣委員
		③支援する側と利用する側の両者をつなぐ手段	若生委員
	4（2）居場所	①学校教育の居場所	高橋由臣委員
		②社会教育の居場所	朴副委員長
		③外国にルーツを持つ人にとって、居場所とは何か	齋藤委員
	4（3）キーパーソン（人とのつながり）	①地域の人の事例（キーパーソンの種類、後継者育成、人材探しの支援等）	泉山委員・朴副委員長
		②外国にルーツを持つこどもたちが、将来どんな影響をもたらすか	朴副委員長
	4（4）行政の支援	①こどもへの周知方法（特に義務教育後）	若生委員
		②居場所づくりの機会醸成・場所の提供	泉山委員
	4（5）小括		泉山委員
おわりに			朴副委員長